

ソフトウェア EasyKool

取扱説明書



1 目次

1	目次	3
1.1.	説明書について	5
2	仕様	6
2.1.	用途	6
2.2.	システム要件	6
3	はじめに	7
3.1.	ソフトウェア/ドライバのインストール	7
3.2.	ソフトウェアの起動	8
4	操作	9
4.1.	ホームページ	9
4.2.	[設定]メニュー	10
4.2.1.	[基本設定]	11
4.2.1.1.	[プログラム]タブ	11
4.2.1.2.	[単位設定]タブ	11
4.2.1.3.	[所有者情報]タブ	11
4.2.2.	[レポート形式の設定]	12
4.2.2.1.	[テンプレート]タブ	12
4.2.2.2.	[編集]タブ	12
4.2.3.	[システム情報]	15
4.2.4.	[Copyright]	16
4.3.	[測定器]メニュー	16
4.3.1.	[接続マネージャ]	16
4.3.2.	[設定]	18
4.3.2.1.	[測定器]タブ	18
4.3.2.2.	[表示言語]タブ	18
4.3.2.3.	[単位]タブ	18
4.3.2.4.	[圧力モード]タブ	18
4.3.2.5.	[プローブタイプ]タブ	19
4.3.2.6.	[測定モード]タブ	19
4.3.2.7.	[効率計算]タブ	19
4.3.2.8.	[冷媒]タブ	19
4.3.2.9.	[専用プリンタ設定]タブ	20
4.3.3.	[オンライン測定]	20
4.3.3.1.	[測定データ]タブ	21
4.3.3.2.	[パネルメータ]タブ	21

4.3.3.3. [グラフ]タブ	22
4.3.3.4. [表示項目設定]タブ	22
4.4. [アーカイブ]メニュー	22
4.4.1. [エクスプローラ].....	23
4.4.1.1. 顧客の追加	23
4.4.1.2. 測定場所の追加	24
4.4.1.3. システムの追加	24
4.4.1.4. コンポーネントの追加.....	24
4.4.1.5. フォルダ/測定値のコピー	25
4.4.1.6. その他の機能.....	25
4.4.2. 測定データの表示.....	25
4.5. [冷媒]メニュー	27
4.5.1. 冷媒ストックの表示	27
4.5.2. ドキュメント変更.....	28

1.1. 説明書について

用途

- > ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解ください。特に、人が傷害を負ったり、製品が損傷したりすることを防止するため、安全上のご注意や警告などは必ずお読みください。
- > この説明書は、いつでも、すぐに見ることができるようお手元に置いてお使いください。
- > この説明書は、製品とともに後任担当者に必ずお引継ぎください。



このソフトウェアを使用するには、Windows®オペレーティング・システムに関する知識が必要です。

本書で使用している文字や記号の意味

文字・記号	説明
i	重要情報: このマークが付いた説明は、取り扱い上の注意や重要事項に関する説明です。
1. ...	操作: 番号に従って決まった順序で行う操作です。
2. ...	
> ...	操作: 単独の操作あるいはオプションの操作です。
- ...	操作結果を示します。
Menu	プログラム・インタフェースの各種要素を表します。
[OK]	プログラム・インタフェースのボタンを表します。
... ...	メニュー内の機能/パスを示したものです。
“...”	入力値の例を、引用符で囲んで示します。

2 仕様

2.1. 用途

testo EasyKool は、testo 556 および testo 570 測定器の機能を強化する設定および分析ソフトウェアです。以下のような、便利な機能を多数備えています。

- ソフトウェアを介した測定器の設定
- 顧客、システム、および測定データの管理
- 測定器とのデータのインポートおよびエクスポート
- インポートしたデータからの測定レポートの作成、保存、印刷
- 測定値へのコメント追加

2.2. システム要件

オペレーティング・システム

このソフトウェアは、以下のオペレーティング・システム上で動作します。

- Windows® XP ServicePack 3 (SP3)
- Windows Vista
- Windows 7
- その他: ご要望に応じて

コンピュータ

使用するコンピュータは、対応するオペレーティング・システムの要件を満たしている必要があります。さらに、以下の要件も満たすことが必要です。

- インタフェース USB 1.1 以上
- Internet Explorer 5.0 SP1 以上



日付と時刻の設定は、PC で設定されている日付と時刻を自動的に引き継ぎます。測定データの真正性を維持するために、管理者は必要に応じて、システムの日付と時刻が信頼できる時刻サーバーなどと定期的に同期が取られるようにする必要があります。

3 はじめに

3.1. ソフトウェア/ドライバのインストール

1. プログラム CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. ファイル **Setup.exe** を起動します。
3. インストール・ウィザードに従って操作します。

Vista 環境でインストールする場合は、以下の手順に注意してください。

- **[ユーザー アカウント制御]**ウィンドウが開いている場合:
 - > **[続行]**をクリックします。
- **[Windows セキュリティ]**ウィンドウが開いている場合:
 - > **[このドライバ ソフトウェアをインストールします]**を選択します。
- 4. **[閉じる]**をクリックして、ソフトウェアのインストールを完了します。

ソフトウェアのインストールが完了したら、測定器を PC に接続して、ドライバのインストールに進みます。

5. USB ケーブルで、測定器と PC を接続します。
 - 接続が確立されます。
 - ドライバのインストールが自動的に実行されます。

測定器のドライバが自動認識されない場合があります。この場合は、以下の手順を実行してください。

Windows XP の場合:

- **[新しいハードウェアの検出ウィザード]**ウィンドウが開きます。
- 1. **[いいえ、今回は接続しません]**を選択して、**[次へ]**をクリックします。
- 2. **[ソフトウェアを自動的にインストールする]**を選択して、**[次へ]**をクリックします。

ドライバが自動的に見つからなかった場合:

- > ドライバへのパスを入力: フォルダ **Testo USB Driver**
- 3. **[完了]**をクリックします。

Windows Vista/Windows 7 の場合:

- **[新しいハードウェアが見つかりました]**ウィンドウが開きます。

1. **[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします]**を選択して、**[次へ]**をクリックします。

ドライバが自動的に見つからなかった場合:

- > **[コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します]**を選択して、**[参照]**をクリックします。ドライバへのパスを入力: フォルダ **Testo USB Driver**
- **[Windows セキュリティ]**ウィンドウが開いている場合:
- 2. **[このドライバ ソフトウェアをインストールします]**を選択します。
- 3. > **[閉じる]**をクリックします。

3.2. ソフトウェアの起動

EasyKool ソフトウェアの起動

i ソフトウェアのユーザー・インタフェースは、オペレーティング・システムの言語で起動します(サポートされている場合)。オペレーティング・システムの言語がサポートされていない場合、ユーザー・インタフェースは英語で表示されます。

- > **[スタート] | [すべてのプログラム]** (Windows XP)または**[すべてのプログラム]** (Windows Vista) | **[Testo] | [testo EasyKool Software]**をクリックします。
-

i Windows Vista の場合、ソフトウェアを初めて起動するときに**[ユーザー アカウント制御]**が開きます。
> **[同意する]**をクリックします。

4 操作

ヘルプボタン

i  ヘルプボタンを押すと、ヘルプバーが開閉します。このボタンは、ホームページ以外のすべてのメニューに表示されます。

4.1. ホームページ

testo EasyKool ソフトウェアを起動すると、ホームページが表示されます。



- 1 ステータス情報が表示されるメニューバー(左)
- 2 プレビュー画面によるクイックアクセス



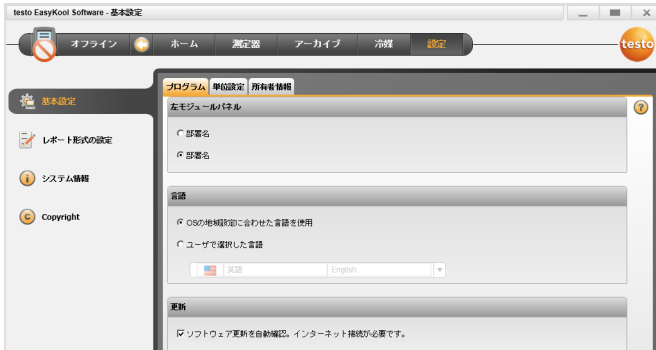
- 3 接続マネージャ
4. 測定器の設定
5. オンライン測定
6. アーカイブした測定の管理
7. 冷蔵ストック
8. 保存冷蔵の変更内容を記録
9. プログラム設定
10. レポート形式の設定

4.2. [設定]メニュー

- ✓ 測定器が testo EasyKool ソフトウェアに接続されていると、そのステータス情報がメニュー・バーに表示されます。

[設定]メニューから、[レポート形式の設定]、[基本設定]、[システム情報]の各メニューを開くことができます。

4.2.1. [基本設定]



> **[ホームページ]** | **[プログラム設定]**を選択します。

または

> **[設定]** | **[基本設定]**を選択します。

4.2.1.1. [プログラム]タブ

- > **[左モジュールパネル]:[部署名]**または**[部署名]** | **[完了]**を選択します。
- > **[言語]:[OSの地域設定に合わせた言語を使用]**または**[ユーザで選択した言語]** | **[完了]**を選択します。
- > **[更新]:[ソフトウェア更新を自動確認。インターネット接続が必要です。]** | **[完了]**を選択します。

4.2.1.2. [単位設定]タブ

- > **[冷媒管理]: 冷媒量を入力** | **[完了]**を選択します。
- > **[測定場所(testo 556/560のみ)]: 海拔高度を入力** | **[完了]**を選択します。

4.2.1.3. [所有者情報]タブ

- > **[所有者情報]:アドレス・データを入力/変更** | **[完了]**を選択します。

4.2.2. [レポート形式の設定]

[レポート形式の設定]メニューでは、ユーザー独自の要件に合わせて、測定レポートを印刷するための形式を変更できます。



> **[ホームページ]** | **[レポート形式の設定]**を選択します。

または

> **[設定]** | **[レポート形式の設定]**を選択します。

4.2.2.1. [テンプレート]タブ

[テンプレート]タブには、各種のレポート・テンプレートが提供されます。これらのテンプレートは、名前を変更、削除、編集、または新規作成できます。

実行可能な操作

- > **[名前変更]**:テンプレートの名前を変更します。
- > **[削除]**:作成したテンプレートを削除します。
- > **[新規]**:新しいレポート・テンプレートを作成します。
- > **[OK]**:選択中のレポート・テンプレートを編集します。

4.2.2.2. [編集]タブ

[編集]タブでは、レポート・フィールドのフィールド・プロパティ(ファイル形式、フォント、線)およびページ・プロパティを変更できます。

ファイル、フォント、線に対して表示されるプロパティは、(同モジュール内の) **[テンプレート]**タブで選択したレポート・フィールドに対してのみ有効です。

- > **[フィールド]**からファイル形式を選択します。

- **[テキスト]**:入力したとおりに、レポート・フィールドにテキストが挿入されます。
- **[データ]**:選択したデータに対するデータベース内に保存された値(測定値、顧客データ、システムデータ)がレポート・フィールドに挿入されます。
データベースからフィールドを選択: **[...]**
- **[画像]**:選択した画像がレポート・フィールドに挿入されます。
画像を選択: **[ファイル参照]** | ファイルを選択 | **[開く]** を選択します。
- **[ロゴ]**: **[設定]** | **[基本設定]** | **[所有者情報]** | **[ファイル参照]** で保存したロゴが挿入されます。
- **[グラフ]**:データベースに保存されている測定レポートの測定値が、画像(グラフ)としてレポート・フィールドに挿入されます。
パラメータを入力します。
- **[テーブル(測定データ)]**:データベースに保存されている測定レポートの測定値が、テーブル形式でレポート・フィールドに挿入されます。
印刷エリアを選択することで、印刷されるテーブルのセクションが定義されます。
[印刷エリアを選択してください。]:印刷エリアを制限するか自動的に拡大します。
[印刷するデータを選択]:印刷するデータを選択します。

> **[フォント]**でフォントを選択します。



この機能は、ファイル形式として**[テキスト]**または**[データ]**を選択している場合にのみ使用できます。

- **[標準フォント設定]**:Page フォルダで設定されたデフォルトのフォントを使用します。
- **[フォントを指定]**:デフォルト以外のフォントを使用します。
フォントを選択: **[フォント]** | 値を選択 | **[OK]** を選択します。
- **[バーコード]**:バーコード・フォントを使用します。
- **[配置]**:**[配置]**でテキスト・フィールド内の配置を選択します。
- **[色]**:フォントの色を選択します。
- **[背景色]**:背景色を選択します。

- > **[罫線]**で、レポート・フォールドの罫線プロパティを選択します。
- > **[ページ]**で、レポートのページ・プロパティとデフォルトのフォントを変更します。
- > ページ・プロパティを入力または設定します。
 - > デフォルトのフォントを定義:**[標準フォント設定]** | 値を選択 | **[OK]**を選択します。

実行可能な操作

- > **[元に戻す]**:操作を元に戻します。
- > **[プレビューを印刷]**:プリンタを選択して、レポートを印刷します。
- > **[テンプレートを呼出]**:保存していないテンプレートを元の状態に戻します。
- > **[テンプレートとして保管]**:新しいレポートを作成します。
- > **[<前ページ]** **[次ページ>]**:レポート内で前後にスクロールします。

4.2.3. [システム情報]

[システム情報]メニューには、使用している PC とソフトウェアに関する重要な情報が表示される 3 つのタブがあります。これらの情報はエラーの診断に役立つため、お問い合わせの際にはこの画面の情報をお手元にご用意ください。



> **[設定]** | **[システム情報]**を選択します。

実行可能な操作

> **[データフォルダ...]**:ディレクトリを呼び出します。

4.2.4. [Copyright]



- > **[設定]** | **[Copyright]**を選択します。
- **[About]**タブが開きます。

4.3. [測定器]メニュー

4.3.1. [接続マネージャ]

- ✓ 測定器がPCに接続されています。
- > **[ホームページ]** | **[接続マネージャ]**を選択します。
- または
- > **[測定器]** | **[接続マネージャ]**を選択します。
- 測定器の画像とタイプが表示されます。



- > 測定器を選択して、**[接続]**をクリックします。



複数の測定器を同時に接続できません。



- メニュー・バーの左のステータス・ディスプレイに測定器が表示されます。
- **[接続]**ボタンが**[切断]**に変わります。
- メニュー・バーの左のステータス・ディスプレイに測定器が表示されます。

接続できない場合:

Windows XP の場合:

- > **[スタート] | [コントロール パネル] | [パフォーマンスとメンテナンス] | [システム] | [ハードウェア] | [デバイス マネージャ]**を選択します。

Windows Vista の場合:

- > **[スタート] | [コントロール パネル] | [システムとメンテナンス] | [システム] | [デバイス マネージャ]**を選択します。

Windows 7 の場合:

- > **[スタート] | [コントロール パネル] | [システムとセキュリティ] | [システム] | [デバイス マネージャー]**を選択します。

4.3.2. [設定]

- ✓ 測定器が testo EasyKool ソフトウェアに接続されていると、ステータス・バーに表示されます。



- > **[ホームページ]** | **[測定器の設定]** を選択します。

または

- > **[測定器]** | **[設定]** を選択します。

4.3.2.1. [測定器]タブ

[測定器] タブには、接続されている測定に関する重要な情報が表示されます。測定器の日付と時刻は、PC の日付と時刻に同期させることができます。

- > **[システム(PC)時刻と同期]**: 手動で日付/時刻を同期させます。

4.3.2.2. [表示言語]タブ

測定器で利用できるテキスト表示言語が表示されます。

- > **言語を選択** | **[保存]** を選択します。

4.3.2.3. [単位]タブ

[単位] タブには、温度、圧力、真空、重量の単位が表示されます。

- > 単位を選択 | **[保存]** を選択します。

4.3.2.4. [圧力モード]タブ

選択した圧力単位に応じて:絶対圧力と相対圧力の表示を切り替えます。

- > **[通常圧モード]** を選択: 絶対/相対 | **[保存]** を選択します。
- > **[モード真空圧]** を選択: 絶対/相対 | **[保存]** を選択します。

4.3.2.5. [プローブタイプ]タブ

使用できるプローブ・タイプが表示されます。

プローブ・タイプを選択します。

- > 浸漬温度プローブまたは表面温度プローブを選択 | **[保存]**を選択します。

4.3.2.6. [測定モード]タブ

使用できる測定モードが表示されます。

測定モードを選択します。

- > 通常モードまたはコンビ・モードを選択 | **[保存]**を選択します。

4.3.2.7. [効率計算]タブ

[効率計算]では、以下の値を入力できます。

- ・ エネルギー消費量(システムの電力消費量)
 - ・ 流量(ヒート・ポンプのセカンダリ・サーキットの流体流量)
 - ・ 密度(セカンダリ・サーキット内の媒体の密度)
 - ・ 熱容量(セカンダリ・サーキット内の媒体の比熱容量)
- > 値を入力 | **[保存]**を選択します。

4.3.2.8. [冷媒]タブ

使用できる冷媒が**[全冷媒]**エリアに表示されます。測定器で利用できる冷媒のみが表示されます。

- > 冷媒を追加/削除:**[追加>]**、**[すべて追加>]**、**[<削除]**、または**[<すべて削除]**を使用します。
- > 冷媒をソート: 冷媒を選択 | **[▲]**または**[▼]**を選択します。

実行可能な操作

- > **[冷媒の更新]**: 冷媒を選択します。
- > **[保存]**

4.3.2.9. [専用プリンタ設定]タブ

[Print text]タブでは、testo 556、testo 560、testo 570 測定器レポートのプリンタ設定のヘッダー行とフッター行を設定できます。

> テキスト入力フィールドに印刷テキストを入力します。

実行可能な操作

> **[所有者情報]**:所有者情報でデータを上書きします。

> [保存]

4.3.3. [オンライン測定]



静電気の帯電により、測定器と PC/ラップトップの間の通信状況が損なわれる可能性があります。特にオンライン測定を実行(測定器と PC/ラップトップを接続)する場合または電源装置を使用する場合は、測定を開始する前に、周辺機器(冷凍空調機器、マニホールド・バルブ・ブロック、冷媒ボトル等)の間で電位差が発生しないように対策(アースの確保など)を講じてください。その際は、冷凍空調機器や冷媒使用機器の安全上の注意点も参照ください。

[オンライン測定]メニューを使用して、コールド測定を実行することができます。この場合、測定器は PC から制御されます。測定値は、直接 PC に送信されて、表示されます。



> **[ホームページ]** | **[オンライン測定]**を選択します。

または

> **[測定器]** | **[オンライン測定]**を選択します。

オンライン測定の実行



[表示項目設定]タブで有効になっているパラメータと測定単位のみが表示されます。

1. **[測定タイプ]**を設定します。
2. **[メモリ間隔 (sec)]**を設定します。
3. **[圧力モード]**を選択します。
4. オンライン測定を開始:**[スタート]**を押します。
 - 測定値が表示されます。
5. 測定を停止:**[ストップ]**を押します。
 - オンライン測定が停止します。

4.3.3.1. [測定データ]タブ

- > **[測定データ]**:単一測定のすべての測定チャンネルと日付/時刻を表示するテーブルです。

実行可能な操作

- > **[保存]**:測定値を保存します。
- > **[Excel にエクスポート]**:測定値を Microsoft Excel (Microsoft Excel 2000 以降)にエクスポートします。
- > **[クリップボード]**:測定値をクリップボード(ピリオド区切りのテキスト・ファイル)にエクスポートします。
 - **[パネルメータ]**タブ:すべての測定チャンネルを含むフィールドを表示します。

4.3.3.2. [パネルメータ]タブ

- **[パネルメータ]**:すべての測定チャンネルを含むフィールドを表示します。現在の測定値が表示されます。

実行可能な操作

- > 表示バーの開閉:**[☒]**キーを押します。
 - > 測定中に、実際の値の代わりに、最小値、最大値、平均値を表示できます。
 - > 表示フィールドのサイズを変更(ズーム):スライダを動かします。

4.3.3.3. [グラフ]タブ

- **[グラフ]**:選択可能な 16 の測定チャンネルと時間軸の自動スケーリングを行える測定グラフが表示されます。

実行可能な操作

- > 表示バーの開閉:**[☺]**キーを押します。
 - > グラフのプロパティ(表示されるチャンネル、線の色、スケール)を設定します。
- > **[ピットマップで保存]**:チャートをファイルとして保存します。

4.3.3.4. [表示項目設定]タブ

使用できる測定チャンネルが**[使用可能なチャンネル]**エリアに表示されます。測定器の現在の表示項目設定に存在するパラメータと測定単位のみが表示されます。

オンライン測定中に PC に表示される測定チャンネルが**[選択したチャンネル]**エリアに表示されます。

表示項目を設定します。

- > 測定チャンネルを追加/削除:**[追加>]**、**[すべて追加>]**、**[<削除]**、または**[<すべて削除]**を使用します。
- > 測定チャンネルの順序を設定:測定チャンネルを選択 | **[▲]**または**[▼]**を選択します。

4.4. [アーカイブ]メニュー

- ✓ 測定器が testo EasyKool ソフトウェアに接続されていると、そのステータス情報がメニュー・バーに表示されます。

このメニューは、測定データをフォルダ構造にアーカイブするために使用します。測定器が接続されており、測定器内に測定データがある場合には、これらの測定データをアーカイブにコピーして、測定器内のフォルダ構造を変更することができます。

4.4.1. [エクスプローラ]



> **[ホームページ]** | **[アーカイブした測定の管理]** | **[testo 570 ウィンドウ]**を選択します。

または

> **[アーカイブ]** | **[エクスプローラ]** | **[testo 570 ウィンドウ]**を選択します。

次の項目は、デフォルトのカテゴリとして設定されています。**[顧客情報]** | **[ロケーション]** | **[インストール]** | **[コンポーネント]**

これらのカテゴリは、testo EasyKool ソフトウェアを介して変更し([Testo]、[Building 1]、[Basement 2]、[Compressor]など)、新しいエントリを追加できます。

4.4.1.1. 顧客の追加

1. 顧客を追加:**[人]**を押します。

- フォルダ**新規顧客情報**が作成されます。



もう一度**[人]**を押すと、別のフォルダが作成されます。

フォルダのテキスト・フィールド選択中に、フォルダ名を変更できます。

2. フォルダが選択されている場合は、**[顧客情報]**タブと**[アドレス]**タブに顧客データを入力できます。

4.4.1.2. 測定場所の追加

1. 測定場所を追加:を押します。

- フォルダ**新規ロケーション**が作成されます。



もう一度を押すと、別のフォルダが作成されます。

フォルダのテキスト・フィールド選択中に、フォルダ名を変更できます。

2. フォルダが選択されている場合は、**[ロケーション]**、**[アドレス]**、および**[冷却機器]**タブに測定場所に関する情報を入力できます。

4.4.1.3. システムの追加

1. システムを追加:を押します。

- フォルダ**新規インストール**が作成されます。



もう一度を押すと、別のフォルダが作成されます。

フォルダのテキスト・フィールド選択中に、フォルダ名を変更できます。

2. フォルダが選択されている場合は、**[インストール]**タブにプラントに関する情報を入力できます。

4.4.1.4. コンポーネントの追加

1. コンポーネントを追加:を押します。

- フォルダ**新規コンポーネント**が作成されます。



もう一度を押すと、別のフォルダが作成されます。

フォルダのテキスト・フィールド選択中に、フォルダ名を変更できます。

2. フォルダが選択されている場合は、**[コンポーネント]**タブにコンポーネントに関するコメントを入力できます。

4.4.1.5. フォルダ/測定値のコピー

1. フォルダ/測定データを選択:カーソルを目的の記号まで移動し、クリックして選択します(オレンジ色にハイライト表示されます)。
2. カーソルを目的のフォルダまで移動し、クリックして選択します(オレンジ色にハイライト表示されます)。
3. 選択したフォルダ/測定を測定器からアーカイブにコピー:  を押します。
または
選択したフォルダ/測定をアーカイブから測定器にコピー:  を押します。
4. 測定器データを保存またはアーカイブ:  を押します。

4.4.1.6. その他の機能

- フォルダを削除:  を押します。
- 測定データをインポート:  を押します。
- データを検索:  を押します。
- 選択した測定データを表示:  を押します。
- 選択した測定データをエクスポート:  を押します。

4.4.2. 測定データの表示



アーカイブの測定データのみ表示できます。そのため、測定器内のデータを表示するには、先にアーカイブにコピーしておく必要があります。

1. **[ホームページ]** | **[アーカイブした測定の管理]** | **[アーカイブ ウィンドウ]**を選択します。

または

1. **[アーカイブ]** | **[エクスプローラ]** | **[アーカイブ ウィンドウ]**を選択します。
 2. 測定データをインポート:を押します。
 3. ファイルを選択 | **[開く]**を選択します。
 4. ファイルをダブルクリック:**[測定データを表示]**モジュールが開きます。
- **[測定データを表示]**メニューには、測定に関する重要な情報が表示される 5 つのタブがあります。

4.5. [冷媒]メニュー

- ✓ 測定器が testo EasyKool ソフトウェアに接続されていると、ステータス・バーに表示されます。

4.5.1. 冷媒ストックの表示

[冷媒ストックの表示]メニューでは、特定期間内の冷媒ストックが表示されます。



- > **[ホームページ]** | **[冷媒ストック]**を選択します。

または

- > **[冷媒]** | **[冷媒ストックの表示]**を選択します。

実行可能な操作

- > **[冷媒]**: 冷媒を選択します。
- > **[開始日]**: 日付を入力します。
- > **[終了日]**: 日付を入力します。
- > **[冷媒の更新]**: 冷媒リストを更新します。

[表]タブ

- ストック・リストを表示します。

[保存/印刷]タブ

- > ストック・リストを保存/印刷: 印刷記号または保存記号を選択します。

4.5.2. ドキュメント変更

[ドキュメント変更]メニューでは、ロケーション、消費量、および冷媒に関するデータを入力できます。



> **[ホームページ]** | **[保存冷媒の変更内容を記録]**を選択します。

または

> **[冷媒]** | **[ドキュメント変更]**を選択します。

実行可能な操作

- > **[冷媒]**: 冷媒を選択します。
- > **[日付]**: 日付を入力します。
- > **[総量]**: 使用した量を入力します。
- > **[ショートネーム]**: 省略名を入力します。
- > **[受領者/小売店]**: 受領者/小売店を入力します。
- > **[ロケーション]**: 測定場所を選択/入力します。
- > **[ストックタイプの変更]**
 - **[期首在庫]**の選択
 - **[ストレージのロード中]**の選択
 - **[ストレージのアンロード中]**の選択
 - **[修正記入]**の選択
- > データを保存:**[保存]**を選択します。
- > 冷媒リストを更新:**[冷媒の更新]**を選択します。



株式会社 テストー

■ 本社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 7F

- セールス TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- サービスセンター（修理・校正） TEL.045-476-2266 FAX.045-476-2277

■ 大阪営業所

〒530-0055 大阪市北区野崎町 7-8 梅田パークビル 9F
TEL.06-6314-3180 FAX.06-6314-3187

ホームページ <http://www.testo.jp> e-mail info@testo.co.jp